

## [公益5] 大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰

### 5-1 情報通信技術を活用した優れた授業研究の評価と表彰

#### <事業計画>

ICT を活用した教育力の向上を図るため、文部科学省の後援を受けて全国の大学・短期大学を対象に「ICT 利用による教育改善研究発表会」を実施する。教育の質的向上に効果的な ICT の活用研究を選考・表彰し、インターネットによる公表を通じて教育改善の研究を啓蒙・普及する。

#### <事業の実施結果>

「ICT 利用教育改善発表会運営委員会」を継続設置し、「ICT 利用による教育改善研究発表会」を開催し、優れた教育方法を選定・評価・表彰した。以下に委員会の活動状況を報告する。

#### ICT 利用教育改善発表会運営委員会

平成30年5月19日、7月28日、平成31年2月6日に平均7名が出席して3回開催し、ICT 利用による教育改善研究発表会における発表募集要項の作成、1次選考と2次選考の運営、Web サイトによる公表を行った。

##### (1) 発表者の募集

平成30年度の発表募集は、平成29年11月に発表募集要項を見直し、平成30年1月15日に実施した。また、平成30年度に向けた発表募集は「教育の質的転換を目指す ICT 利用」を強調するため、発表内容をアクティブ・ラーニング、双方向型授業、反転授業、PBL、TBL、事前・事後学修、協調・協働学修などの取組みで、教育効果が見られるもの限定して募集した。また、発表申込み用紙の体裁・書式について一部修正を行った、特に、教育分野の選択肢に「キャリア教育系」と「分野横断系」を追加した。更に、発表内容の記述文字数を200字以上400字以内に変更した。

##### (2) 発表の選考

- ① 運営委員会で57件の応募について書類選考を行い、48件の発表を確定したが、後日3件辞退があり、最終的な発表は45件となった。
- ② 1次選考は、平成30年8月9日（木）に東京理科大学で3会場において、発表者による発表（機器接続2分、発表時間13分、質疑5分）を行い、選考規程にもとづき、選考委員が分担して発表内容及び発表会論文を精査し、以下の基準で選考した。
  - ※ 教育上の問題解決を図るために、ICT を利用した教育改善の目的・目標が明確に示されていること。
  - ※ ICT を利用した教育改善の内容と方法が明確に示されていること。
  - ※ 客観的な評価方法により、教育改善の効果が明確に示されていること。その結果、6件を選考した。詳細は、巻末の平成30年度事業報告の附属明細書【2-7】を参照されたい。
- ③ 2次選考は、9月22日（土）に実施し、選考委員全員で1次選考の発表を収録したビデオ及び発表会論文を精査し、授賞の基準にもとづき実施した結果、以下の通り奨励賞1件の授賞を決定した。

平成30年度表彰者

★「グローバル人材育成科目開発・アクティブ・ラーニング型授業としての反転授業の実施」

明治学院大学文学部准教授 関口 幸代 氏

[授賞理由]

本研究は、グローバル人材育成を目指し、海外のMOOCs英語教材を利用して、学部横断型アクティブ・ラーニングの反転授業科目の開発を行うとともに、事前学修の徹底のため、学生が日常使用しているアプリを利用することで、学修者一人ひとりの学修行動を可視化・把握する環境が整備できるようになり、8割以上の学生が学修教材を理解し、教室での協働学修につなげることが可能になった実践例である。

(3) 選考結果の表彰

表彰は、平成30年11月26日の第23回臨時総会で発表者を招待し、文部科学省専門教育課の立会いの下、本協会向殿会長から奨励賞の楯と副賞（3万円）を授与した。

(4) 授賞論文の公表

本協会のWebサイトで公表した。

